

令和4年度防府市シルバー人材センター事業報告

1 概況

わが国の景気は新型コロナウイルスの影響で、中小企業等労働市場は、事業の縮小や閉鎖が相次ぎ一層深刻な状況となっています。しかしながら、依然として人手不足は続いており、元気な高齢者の果たす役割はますます重要なものとなっています。

公益社団法人として、令和4年度も「会員の増強」を最重点目標とし、積極的に取り組んできましたが、当センターの会員数は、今年度末の会員数が909人となり、昨年度末の935人を上回ることはできませんでした。契約金額については、昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、減少となりましたが、今年度も4億4千7百万円(対前年度比1千1百2拾3万円、2.5%減)と実績も大幅な減少となりました。

以下、令和4年度の主な事業について報告いたします。

(1) 雇用によらない就業機会の提供

①会員の増強及び就業機会の開拓の実施

会員増強を主眼として、月2回の定例説明会でセンター製作の「就業ビデオ」を活用した入会説明会を実施しました。その他、事務局窓口での随時説明や一般市民も参加できる研修会・講演会開催、会員研修会への一般高齢者の参加など入会促進に努めました。また、「会員紹介制度」及び「夫婦会員の会費減免制度」を活用し、会員の増強に努めました。高齢会員の退会抑止策として、著名人による講演会や講習会参加の無料化、会員価格の消耗品の販売、会員研修旅行参加費の補助などを実施してきました。令和4年度は会員研修旅行はコロナの影響はあるものの、感染者が減少傾向にあったため、実施しました。

次に、地域班については、地区研修会を会員研修会として、会員が希望日を決め、1月23日から1月27日までサンライフ防府で5日間開催しました。地域班活動は、世話人による資料配付及び郵送などで地区会員との連携を図りました。また、職群班については、各職群の会員が知人、友人への入会促進を行いました。

会員確保と就業機会の拡大はシルバー事業の根幹であるため、事業検討推進委員会が中心となって、市内公民館を訪問し、チラシの置き場位置、補充の確認をしました。

次に、独自事業として、当センターの主軸である手芸品は、コロナ禍であってもイベントも開催されるようになり、展示・即売を開始しました。また、会員の特典として、シルバー行事の際には2割引きで販売しました。「サンライフ防府」の「秋の音楽発表会」「文化祭」で手芸品販売のほか、フリーマーケットコーナーも設置し、売上増加に努めました。その他「子育てサロン」「介護予防及び育児支援講座」等も実施し「正月用輪飾り」については「おいでませ」担当会員、家事援助会員及び剪定会員により、製作販売しました。

次に、高齢社会の課題である空き家及びお墓の維持管理に対応するため「空き家及びお墓の管理サービス事業」を引き続き実施しました。

しかしながら、令和4年度も全体的には受注契約金額は、減少とはなりました。特に、公共施設及び家庭内での就業は、コロナ禍で減少し、密閉・密集・密接の関連で、新規の受注が減少しました。

②指定管理者制度による管理運営

「サンライフ防府」の指定管理者として、窓口受付、屋内外の清掃、除草、剪定、建物営繕修理業務等会員の就業機会の確保と、施設を利用する一般の方の地域福祉の向上に努めました。教養講座の講座生は減少しましたが、短期講座を増やし、受講料収入は増加しました。また、施設収入も増加しました。

また、「サンライフ防府」のロビーを利用し、シルバー会員の手芸品及び木工品を展示・販売し、売上の増加に努めました。

(2) 雇用による就業機会の提供

高齢者の多様なニーズに応えるため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高齢者に、労働者派遣による就業機会の提供を行いました。

(3) 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習の実施

就業上必要な技能・知識を高齢者に付与し、実際の就業に結びつけるために剪定、草取り・草刈り、掃除等の各種技能講習会を開催しました。また、草刈機の取扱い方等安全教育を主とした講習会も実施しました。

次に、「介護予防・日常生活支援総合事業」会員の養成のため、センター独自の介護・料理・手芸・掃除等の講習会を開催しました。

また、後継者育成のために輪飾り、障子・網戸の張替え講習会を実施しました。

(4) 社会参加活動を推進するための諸活動

①普及啓発活動

シルバー事業の周知を図るため、会報「しあわせ」の発行、ホームページの更新、市広報への掲載、地元ラジオ局「FMわっしょい」への出演、シルバーのイベント・活動事例等を地元地方紙に情報提供や取材協力等マスメディアを活用した普及啓発活動を行いました。また、玄関ホールに「会員の就業写真」を掲示し、発注者及び入会希望の高齢者にシルバーの仕事内容をPRしました。なお、就業写真は、常に更新しています。

次に、普及啓発促進月間行事として、会員によるセンター周辺市街地の清掃活動を今年度は実施し、99名の会員が参加しました。併せて、普及啓発促進月間に、センターに隣接するスーパーの立木の剪定、除草・清掃を一般作業班及び草処理班会員のボランティアで実施しました。その他広報委員会による「もみじ銀行防府支店」での会員作品展示は実施しましたが「わいわいHOFUっ子」「フリーマーケット」は中止となり、それに伴う天神町銀座商店街の「子育てサロン」の無料開放は今年度も実施できませんでした。コロナの影響で、イベントの中止はありましたが、11月の下旬にまちの駅「うめてらす」主催の「コロナに負けないまちづくり」に参加し、会員手作り作品の販売とシルバー事業のPRを行いました。

②安全・適正就業の推進

会員の就業中または就業途上における事故防止のため、安全・適正就業委員会による就業現場のパトロールを6月から11月まで10回実施しました。事故原因が、傷害事故では、落下、機械に接触、交通事故、損害賠償事故では、小石の飛散による事故や機械や器具使用での引込線の切断事故等が多いため、パトロールの際に特に注意喚起し、玄関ホールに最新の事故状況を掲示し、会員の安全意識高揚に努めました。

また、会員の安全意識を高めるため「事務局からのお知らせ」版の配付に併せて「事故状況(傷害及び物損)」をはせ込みました。

次に、会員入会説明会時や会員研修会において、就業時に傷害事故の多い剪定作業や物損事故の多い草刈り作業での事故例を示し、安全意識の高揚に努めました。

次に、「熱中症予防」及び「健診をうけましょう！！」のリーフレットの全会員への郵送や安全パトロール時に「熱中飴」を配布し、夏場に多い熱中症予防を呼びかけました。また、健康診断確認書持参で粗品進呈など会員の健康診査の啓発、対策に努めました。

しかしながら、令和4年度の事故発生状況は、傷害事故が5件(昨年度は8件うち2件は労災)、損害賠償事故は8件(昨年度は12件、内派遣0件)となりました。

最後に、請負・委任契約書に仕様書添付等適正就業を推進し、請負・委任に馴染まない仕事は、労働者派遣事業にする等適正な就業に努めました。

③調査研究

今年度も会員及び発注者、並びにサンライフ防府の利用者に対する満足度調査を実施し、ほとんどの方から満足しているという回答を得ました。アンケートの結果については、ホームページに掲載し一般市民に公開しました。

④相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、定例の入会説明会及び随時受付のほか「シルバー事業研修会」及び「会員研修会」に一般市民の参加を呼びかけました。また「会員研修会」の開催では、今年度も市広報に掲載し、一般高齢者も募集しました。

その他センター独自の講習会及び研修会終了時に、一般高齢者に雇用・就業に関する情報提供を行いました。また、市内各公民館には、すでに設置しているチラシの入替えをお願いし、サンライフ防府においても、施設を訪問する中高年齢者に対して、ハローワークからの職業情報を提供しました。また、常設店舗「おいでませ」においても、利用する一般高齢者から会員入会説明会の日程や会員登録の方法及び仕事の依頼方法についての相談がありました。

⑤その他社会参加活動の推進

その他社会参加活動として、一般高齢者にもセンターの介護・料理・生花講習会や健康・環境・防災等に関する研修会などへの参加を呼びかけ、社会参加活動を推進しました。

また、サンライフ防府主催の趣味創作・体力づくり講座の開講や施設の提供を通して、高齢者の生きがい・健康づくり等社会参加活動を支援しました。

また、高齢者の豊富な経験と能力を活かした育児支援の実施に加え「子育てサロン」による「場」の提供や育児支援講座では、シルバー会員による託児付き保護者向け講座等を開催し、子育て中の保護者の育児の負担や不安の軽減に努めました。